

第 7 回旭市海業推進地域協議会 議事録

会議名	第7回旭市海業推進地域協議会
日時	2026 年 3 月 17 日(火) 13:30~15:00
場所	いいおかユートピアセンター(1 階大会議室)

■議事(1)旭市海業推進事業計画の計画承認及び公表について

①主な修正箇所の確認

・(事務局) パブリックコメントを踏まえた第 6 回計画からの修正内容として、2026 年中に予定されている都市計画変更を見据え、容積率 200%、建ぺい率 60%の規制範囲内で複合施設を計画する方針を明記した。また、事業者の自由度を確保するため配置案を1つ(案 2)に集約し、眺望を活かす観点から建物を南側へ移す修正を行った。さらに、「できることから実践する」という方針のもと、複合施設を最優先のハード事業として位置づけるとともに、その他の事業についても事業者の提案に応じて柔軟に推進していくこととした。運営体制については、「おひさまテラス」の旭市固有の官民連携の実績を活かして、他地区の取組と差別化を図る運営を目指すとともに、漁業者や地域住民、事業者が連携して賑わいを創出する体制を整理した。

②今年度のスケジュール

・(事務局) 今年度のスケジュールとして、海業の趣旨に共感してもらえる適切な事業者を募集するため公募・準備期間を 2029 年度上半期まで確保するよう修正し、最短で 2031 年度の施設開業を目指すスケジュールとした。また、施設の完成までの期間についても、本協議会を通じてイベント運営や推進体制に関する議論を継続することとした。

・(委員) 「全国豊かな海づくり大会」と事業時期が重なるが、スケジュールや進行に支障はないか。

→(事務局) (工事期間との重複はなく)支障はないと認識している。むしろ海を豊かにする共通の目的を持つ事業として、相乗的な PR 効果が期待できる絶好の機会と捉えている。漁業者に迷惑がかからないよう、慎重に協議しながら進めていく。

・(委員) 施設の配置が車両など漁業活動の妨げにならないこと、安全性が確保されることが重要である。場所を分けて配慮された計画であるので賛成である。

議事(1)について、修正内容および計画の承認・公表は、出席者全員の拍手をもって承認される。

その他共有事項

①2026 年度4月以降のスケジュールについて

・(事務局) 2025 年度(令和 7 年度)には、事業者とのマッチングとしてサウンディング(市場調査)を継続し、市内外の事業者との接点を強化していく予定である。今後の漁港施設等活用事業の活用推進計画は千葉県が主体となって推進される。旭市としての役割は、よりよい事業者を結び付けていき、公募の目途をたてることが役割と考えている。異業種含めた事業者同士のマッチング、また、一般利用者に飯岡漁港の魅力を知ってもらうため、釣りや朝市などの体験型イベントを漁協等と連携して試行することとしている。さらに、国の制度を活用し、地域と事業の橋渡し役となる「地域プロジェクトマネージャー」の確保につ

いても検討を進めている。

②海業マッチング会の報告

- ・**(事務局)** 2026 年 2 月 13 日に開催された本会は、全国で 3 番目の実施地区として水産庁から選定されたものであり、民間企業 29 名を含む計 33 名が参加した。ほとんどが市外からの参加者であった。参加者の反応としては、旭市の取り組みへの注目度が高く、建設・飲食・宿泊など幅広い業種が視察に訪れた。具体的な事業計画を持つ段階の参加者よりも、先行事例として学ぶことを目的とした参加者が多かったものの、有意義な情報交換が行われた。

③その他共有事項

- ・**(千葉県水産課)** これまでに本協議会は計7回実施され、本計画が取りまった、令和8年度からは、漁港管理者である千葉県が「活用推進計画」を 1 年から 1 年半かけて策定する予定であり、本協議会の意向を反映させるため、市と事務レベルでの協議を継続していく。本事業は、洋上風力発電事業の準備区域であることから、その進捗に関しては注目度が高いと認識。また、「おひさまテラス」のような居心地の良い施設や、本協議会での活発な意見交換そのものが地域の貴重な資源であるとして、今後も十分なコミュニケーションを図りながら進めていきたい。
- ・**(米本旭市長)** 委員の皆様には、多くのご意見をいただき、協議を積み重ね、本日、旭市海業推進事業計画を取りまとめることができた。本計画は海業推進の礎となるものであり、来年度以降の具現化に向けて地域・事業者・行政が連携し、旭市の魅力を最大限に引き出していきたい。

-以上-